

# 平成 24 年度 数学

## 問題の選択方法

- 教育学部、農学部、工学部環境建設工学科社会デザインコースの受験者は、  
①, ②, ③, ④ の 4 問
- 理学部、工学部(環境建設工学科社会デザインコースを除く)の受験者は、  
④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧ の 5 問
- 医学部の受験者は、  
④, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨ の 5 問

を解答すること。

## 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、18 ページあります。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答は、すべて解答用紙の指定のところに記入しなさい。やむをえない場合は、解答用紙の裏も使用してよい。ただし、裏を使用する場合は、その旨を解答用紙の表に明記し、裏に書かれた指示に従って解答すること。
- 4 問題冊子の余白は下書きに使用してよい。

1

(教育学部・農学部・工学部環境建設工学科社会デザインコース)

次の問いに答えよ。

- (1)  $\frac{1}{2 + \sqrt{3} + \sqrt{7}}$  の分母を有理化せよ。
- (2) 方程式  $4x^2 - 3x + k = 0$  の 2 つの解が  $\sin \theta, \cos \theta$  で与えられるとき, 定数  $k$  の値を求めよ。
- (3) 関数  $y = 4^x - 2^{x+2} + 1$  の  $-1 \leq x \leq 3$  における最大値と最小値を求めよ。
- (4) 直方体の各面にさいころのように 1 から 6 までの目が書かれている。この直方体を投げて, 1, 6 の目が出る確率はともに  $p$  であり, 2, 3, 4, 5 の目が出る確率はいずれも  $q$  である。この直方体を 1 回投げて, 出た目の数を得点とする。このとき, 得点の期待値は  $p, q$  の値によらずに一定であることを示せ。

(下書き用紙)

数学の試験問題は次ページに続く。

2

(教育学部・農学部・工学部環境建設工学科社会デザインコース)

数列 $\{a_n\}$ の初項から第 $n$ 項までの和 $S_n$ が条件

$$S_n = 4n - 3a_n$$

を満たすとする。このとき、次の問い合わせよ。

(1) 初項 $a_1$ を求めよ。

(2) 一般項 $a_n$ を求めよ。

(3)  $a_n > \frac{35}{9}$ となる最小の自然数 $n$ を求めよ。ただし、必要ならば $\log_{10} 2 = 0.301$ ,  $\log_{10} 3 = 0.477$ として計算してよい。

(下書き用紙)

数学の試験問題は次ページに続く。

3

(教育学部・農学部・工学部環境建設工学科社会デザインコース)

次の問いに答えよ。

- (1) 放物線  $y = x^2 + 2x - 3$  と直線  $y = 2x + 4$  の交点の座標を求めよ。
- (2) 次の連立不等式で表される領域を  $D$  とする。領域  $D$  を図示し、その面積を求めよ。

$$\begin{cases} y \geq x^2 + 2x - 3 \\ y \leq 2x + 4 \\ y \leq 0 \end{cases}$$

- (3) 点  $(x, y)$  が(2)の領域  $D$  を動くとき、 $x + 2y$  のとりうる値の範囲を求めよ。

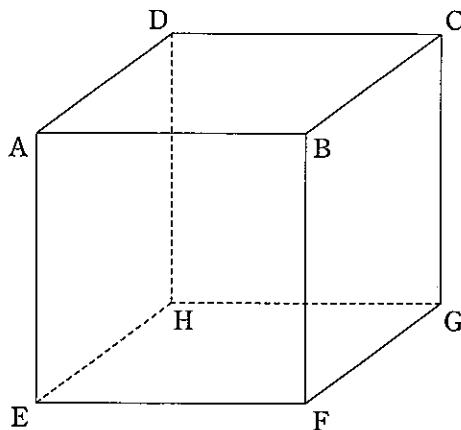
(下書き用紙)

数学の試験問題は次ページに続く。

4

(教育学部・農学部・理学部・工学部・医学部)

図のような1辺の長さを1とする立方体ABCD-EFGHを考える。線分AHと線分EDの交点をKとする。さらに、辺CGを3:1に内分する点をLとし、辺EFを $p:1-p$ に内分する点をMとする。ただし、 $0 < p < 1$ である。また、 $\vec{a} = \overrightarrow{EF}$ ,  $\vec{b} = \overrightarrow{EH}$ ,  $\vec{c} = \overrightarrow{EA}$ とおく。



- (1)  $\overrightarrow{KL}$  および  $\overrightarrow{KM}$  をそれぞれ  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ ,  $\vec{c}$  を用いて表せ。
- (2)  $\overrightarrow{KL}$  と  $\overrightarrow{KM}$  が垂直になるような  $p$  の値を求めよ。
- (3) 直線 KL と面 EFGH を含む平面との交点を Q とする。
  - (i) 線分 EQ の長さを求めよ。
  - (ii)  $\triangle EKQ$  の面積を求めよ。

(下書き用紙)

数学の試験問題は次ページに続く。

## 5

(理学部・工学部(環境建設工学科社会デザインコースを除く))

次の問い合わせよ。

(1)  $a, b$  を実数で、 $a \neq 0$  とする。 $c = \frac{2 + 3ai}{a - bi}$  が純虚数のとき、 $b$  と  $c$  の値を求めよ。

(2) 定積分  $\int_0^{2\pi} \left| x \cos \frac{x}{3} \right| dx$  を求めよ。

(3) 直方体の各面にさいころのように 1 から 6 までの目が書かれている。この直方体を投げて、1, 6 の目が出る確率はともに  $p$  であり、2, 3, 4, 5 の目が出る確率はいずれも  $q$  である。この直方体を 1 回投げて、出た目の数を得点とする。このとき、得点の期待値は  $p, q$  の値によらずに一定であることを示せ。

(4) 座標平面上の曲線

$$x = 2 \cos \theta + 1, \quad y = 3 \sin \theta \quad (0 \leq \theta \leq 2\pi)$$

で囲まれた図形を  $x$  軸の回りに 1 回転して得られる回転体の体積を求めよ。

(下書き用紙)

数学の試験問題は次ページに続く。

## 6

(理学部・工学部(環境建設工学科社会デザインコースを除く)・医学部)

数列  $\{a_n\}$  を

$$a_n = [\sqrt{n-1}] \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定める。ただし、 $[x]$  は  $x$  を越えない最大の整数を表す。また、自然数  $n$  に対して

$$S(n) = \sum_{k=1}^{n^2} a_k$$

とおく。

(1)  $a_1, a_2, a_3, a_4, a_5$  の値を求めよ。

(2)  $a_n = 5$  となる  $n$  はいくつあるか。

(3)  $S(n)$  を求めよ。

(4) 極限  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S(n)}{n^3}$  を求めよ。

(下書き用紙)

数学の試験問題は次ページに続く。

7

(理学部・工学部(環境建設工学科社会デザインコースを除く)・医学部)

行列  $A = \begin{pmatrix} -2 & 2 \\ 2 & 1 \end{pmatrix}$  に対して

$$X = -\frac{1}{5}(A - 2E), \quad Y = \frac{1}{5}(A + 3E)$$

とおく。ただし、 $E$  は 2 次の単位行列とする。

- (1)  $XY, YX, X^2, Y^2$  を計算せよ。
- (2)  $A = aX + bY$  を満たす実数  $a, b$  を求めよ。
- (3) 自然数  $n$  に対して  $A^n$  を求めよ。

(下書き用紙)

数学の試験問題は次ページに続く。

8

(理学部・工学部(環境建設工学科社会デザインコースを除く)・医学部)

実数  $a$  は  $a > e$  を満たすとし、曲線  $y = \log x$  上の点  $A(a, \log a)$  における接線を  $\ell$  とする。

- (1)  $\ell$  と  $y$  軸との交点を  $B$  とし、 $\ell$  と  $x$  軸との交点を  $C$  とする。  $B$  と  $C$  の座標を求めよ。
- (2)  $\ell$  と  $x$  軸、 $y$  軸で囲まれた部分の面積を  $S_1(a)$  とし、曲線  $y = \log x$  と  $x$  軸および直線  $x = a$  で囲まれた部分の面積を  $S_2(a)$  とする。 $S_1(a)$  と  $S_2(a)$  を求めよ。
- (3)  $T(a) = S_2(a) - S_1(a)$  とおく。 $e^2 \leq a \leq e^3$  における  $T(a)$  の最大値と最小値を求めよ。

(下書き用紙)

数学の試験問題は次ページに続く。

9

(医学部)

次の問いに答えよ。

- (1)  $33^{20}$  を 90 で割ったときの余りを求めよ。
- (2) 正六角形 ABCDEF において、辺 CD の中点を P とする。また、 $\vec{AC} = \vec{c}$ ,  $\vec{AE} = \vec{e}$  とおく。このとき、 $\vec{FP}$  を  $\vec{c}$ ,  $\vec{e}$  を用いて表せ。
- (3) 袋の中に 1 から 10 までの数字が 1 つずつ書かれた 10 個の玉が入っている。  
この袋から同時に 3 個の玉を取り出す。このとき、取り出された玉の 3 つの数を 3 辺の長さとする三角形が存在する確率を求めよ。

(下書き用紙)